

2022年3月8日

各 位

会 社 名 株式会社オーエムツーネットワーク
代表者名 代表取締役社長 大越 勤
(JASDAQ・コード7614)
問合せ先 取締役管理部長 澄川 新一
(TEL03-5405-9541)

通期連結業績予想の修正、特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2021年12月13日に公表した通期連結業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせします。

1. 2022年1月期 通期連結業績予想数値の修正(2021年2月1日～2022年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 30,800	百万円 1,170	百万円 1,350	百万円 650	円 銭 96.52
今回修正予想(B)	29,724	1,136	1,307	972	144.51
増減額(B-A)	△1,075	△33	△42	322	
増減率(%)	△3.5%	△2.9%	△3.1%	49.6%	
(ご参考)前期実績 (2021年1月期)	29,579	1,368	1,650	689	102.33

2. 修正の理由

親会社株主に帰属する当期純利益については、後述の「3. 特別損失の発生及びその内容」及び「4. 特別利益の発生及びその内容」に記載のとおり、特別利益、特別損失を計上することから、前回予想を上回る972百万円となる見込みです。

3. 特別損失の発生及びその内容

当社連結子会社において、収益性の低下が認められる店舗に係る固定資産につきまして、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当第4四半期連結会計期間において、減損損失198百万円を計上いたします。これにより第3四半期までに計上済の19百万円と合わせ、218百万円を減損損失として計上いたします。

また、外食業2社において、新型コロナウイルス感染症対策として実施しました休業・営業時間短縮により発生した固定費(人件費や店舗家賃等)423百万円(うち当第4四半期連結会計期間における計上額は58百万円)を店舗休止等損失として特別損失に計上いたします。

4. 特別利益の発生及びその内容

外食業2社において、新型コロナウイルス感染症対策として実施しました休業・営業時間短縮に対する協力金及び雇用調整助成金による収入931百万円(うち当第4四半期連結会計期間における計上額は220百万円)を補助金収入として特別利益に計上いたします。

5. 配当予想

本業績修正に伴う2022年1月期の配当予想に変更はありません。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上